様式第１０号ア（特定分野に強みや専門性を持つ学科等に係る特例に関する資料）

|  |
| --- |
| **１．当該学科等において身に付ける強みや専門性に係る活動等が顕著であるか**  |
| ○強みや専門性に係る活動の内容（強みや専門性に関する具体的な内容について記載すること。）○強みや専門性を身に付けるために想定される期間や単位数等（身に付ける強みや専門性に係る活動等が、一般的に一種免許状の教職課程を履修すること両立困難であると想定されるものであることを期間や単位数等の具体的な数値を示して記載すること。必要に応じ、図表等を含めて構わない。）○期待できる相乗効果（身に付ける強みや専門性が、申請する二種免許状との関係でどのような相乗効果を期待できるかを具体的に記載すること。単に既存の教育課程の授業科目を深化・発展させることを目指すものは該当しないので留意すること。） |
| **２．当該学科等で身に付けることができる強みや専門性と認定を受けようとする免許状の種類が、地域や学校現場のニーズ等に応じたものであるか**  |
| ○教育委員会等からの要望や地域や学校における課題（教育委員会等からの要望や地域や学校における課題を具体的に記載すること。）○要望や課題に対して解決できる教育課程の内容（強みや専門性が教育委員会等からの要望等について対応したものになっていることを記載すること。） |

|  |
| --- |
| **３．身に付ける強みや専門性に係る活動等と二種免許状の教職課程の両立を目的とした教育課程等であるか。**  |
| ○両立を目的とした教育課程について（学年別に記載するのではなく、教育課程全体を通じて無理のない教育課程になっているか記載すること。）○科目開設上の工夫や履修指導の体制（無理のない教育課程とならないよう科目開設上の工夫や履修指導の体制等について具体的な予定を記載すること。） |
| **４．当該学科等の学位プログラムと当該学科等で身に付ける強みや専門性との関係が認められるか**  |
| （強みや専門性に係る活動等と当該学科等の学位プログラムとの関係性について、記載すること。） |